

2023 年度 (令和 5 年度)

学校評価自己評価表

加茂

中学校区

校番 85

福山市立

加茂小

学校

最終更新日

2023年(令和5年)4月12日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小の連携は、これからも密に行ってほしい。また保護者のつながりもつくるとよい。 ・不登校児童に対する取組を継続し、改善に努めてほしい。 ・コロナ禍の中で学校は取組を進めている。再編後も地域とともにある学校づくりに努めてほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1小1中 ○中1ギャップは少ない △友人との関わりや見方が固定化、互いの新たな可能性や成長に気づきにくい ・不登校・不登校傾向の児童・生徒 加茂小…増加 加茂中…減少 ・生活面 △学習習慣、規範意識 等 ・学力面 △基礎学力の定着・思考力等に課題 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決力 コミュニケーション力 あきらめない心</p> <p>学びを楽しむ・学びを活かす子ども 夢を語る・自分のことを語る子ども</p> <p>①幼保小中連携 子ども・教職員の交流を通して、幼児期から小中学校までの学びをつなぐ「幼保小・小中・幼保中」連携した教育活動の実践</p> <p>②地域とともにある学校 CSを導入し、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図る 地域素材を活用した教育活動の実践</p>
--	--	--	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>○自分のため、社会のために、仲間とともに、地域とともに、未来をつくることのできる、夢を実現する力を育てる学校</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像</p>	<p>課題発見・解決力</p> <p>○自分で、みんなで、取り組む中で、課題を見出し、解決の形を考えることができる。 ○解決するために、方法を考え、取り組むことができる。 ○取り組みをふり返り、また考えたり、取り組んだりすることができる。</p>	<p>コミュニケーション力</p> <p>○様々な表現方法で、自分の考えや思いを伝えることができる。 ○相手の考えや思いを聞き、相手のことを尊重することができる。 ○自分で、みんなで、取り組む中で、新しいことや新しい価値を伝えることができる。</p>	<p>あきらめない心</p> <p>○「やってみよう」とする意欲をもつ。 ○他に何か方法がないか考えることができる。 ○友達に声をかけたり、応援したりすることができる。</p>
<p>学校教育目標</p> <p>ともに 学び合い 高め合う</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>自ら学びを創る児童の育成～Continue Connect Create～</p> <p>主体的・対話的で深い学びのある授業づくり 個人研究テーマにもとづいた研究 主体的な学びを展開するため、子どもに力をつけるための教材研究と授業実践</p>		
<p>現 状</p> <p>〈児童生徒〉 ○明るく、素直で、挨拶のできる児童生徒が多い。 ○学習意欲のある児童が多く、自分のやりたいことに取り組む児童も多い。 △不登校児童・感染症不安での欠席人数が多く、出席数が減少しつつある。 △学習面では、「基礎・基本」の定着や思考力・表現力が十分ではない。</p> <p>〈授業〉 ○全国学テの結果分析・主体的な学びの推進のため「任せる、考える・書く」授業を実践した。児童に何を任せるのか、授業で何を考え、何を書くのかという視点での教材研究や授業観察を行い、教師間の対話が増えた。児童の「書く」意欲も増えている。 △学年ごとの基礎学力の定着と、児童個々の学力の伸びに着目した取組を進化させる必要がある。</p>	<p>めざす授業の姿</p>	<p>? (なぜ・どうして) が! (わかった・できた・なるほど) になる授業 「任せる、考える・書く」</p>		